

JAとして環境保全型農業を推進の中で ～ブランド化した農産物の生産拡大～



愛媛県久万高原町本組・中組地区
活動組織名: 東明神本組中組活動組織

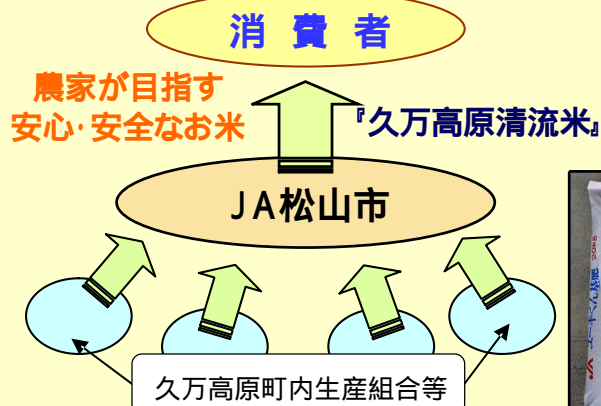
地区概要 : 取組面積(共同) 20.4ha 交付金: 882千円(共同)
対象品目 水稲 うち先進的営農支援における取組面積 12.7ha 957千円(営農)

取組に至った背景・経緯

「できた米を売る時代」から「売れる米を作る時代」への意識改革
消費者から産地の顔が見え、産地から消費者の顔が見える体制づくり
農家・農協・行政が一体となった生産販売の取り組み
の3つを稲作経営の柱とし、石鎚山から流れ出る清流を利用した「久万高原清流米」
として流通体制を整備した。



四国久万高原 清流米とは



作付品種: コシヒカリ、キヌヒカリ、その他
減農薬・減化学肥料栽培(技術的取組)
土づくり技術(稲わらのすき込み)
化学肥料低減(県慣行基準より5割低減)
化学合成農薬低減
(県慣行基準より5割低減: 18成分 9成分)



営農活動支援に取り組んで良かったこと

今まで減農薬・減化学肥料栽培に取り組む農業者に対する助成はなかったため、画期的であり、取り組む農業者は大変助かっている。
地域全体で環境保全に対する意識が高まった。
消費者が求める安心・安全な米の生産体制が整うことができた。

今後の更なる展開方向

消費者との交流を積極的に行い、販売拡大を図る。
省力化による産地の維持とあわせて、さらに環境にやさしい栽培体型を推進する。



JA松山市ブランド米